

SEI WORLD

住友電工グループニュースレター Vol.450

3

2015





SEI WORLD **3** 2015

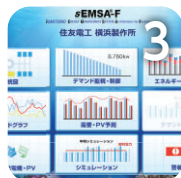
住友電工グループニュースレター Vol.450

Contents



トップメッセージ

悪貨に良貨を駆逐させないために



特集

事業所・工場向け
新エネルギー・マネジメント・
システムsEMSA®



製品技術

LTE小型基地局用オールインワン
無線モジュール「TPM-2606P2」



Latest Information

スズキ(株)より
「Best Partner」賞、
「VA・VE提案」賞を受賞



今月のグループ会社紹介

マレーシア連邦WIN-M社
Sumitomo Electric Wintec (Malaysia) SDN.BHD.

TOP MESSAGE

悪貨に良貨を駆逐させないために

住友電気工業株式会社 社長 松本 正義

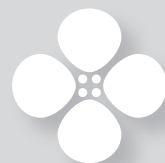


少し前に日本経済新聞に連載された、プロ野球の王貞治さんの回顧録をお読みになった方もおられることと存じます。選手時代はスーパースターであった王さんも、引退後に歩んだ指導者の道は順風満帆ではありませんでした。巨人の監督を退いた後に采配をとった福岡ダイエーホークス(現 福岡ソフトバンクホークス)も、就任当初は成績が低迷し、選手が乗るバスがファンに取り囲まれ、生卵を投げつけられるという騒ぎまであったそうです。

王さんは、当時の一番の問題は「負け慣れ、負け体質」であった、と述懐しておられます。何年も優勝争いから遠ざかっていた組織からは、厳しさがなくなっていたのでしょうか。その後、再生への手ごたえを感じ始めたのは、選手の世代交代も進んだ2年ぐらい経ってからだったそうです。一軍・二軍合わせて60~70人程度の組織でも、いったん染みついた「負け体質」を払拭し上向きに転ずるには、意識改革と新陳代謝のために相当の時間が必要だったのだろうと理解しました。

「組織」は何らかの目的、意志をもった集まりですが、高い士気を長く維持するには、メンバーの内面から湧きあがって来るモチベーション、つまり「内発的な動機」が必要であります。動機が薄まれば、「悪貨は良貨を駆逐する」との警句の通り、安きに流れてしまいます。その結果、「ぬるま湯」的な居心地の良さにかまけて、「忍び寄る危機」に気がつかなかった、というのはよく聞く話です。

とは言いながらも、「言うは易く行は難し」。大げさな題をつけてしまいましたが、組織の「内発的な動機づけ」を導く魔法の杖があるはずありません。組織のリーダーは、地道に三現主義で現場をよく見て、メンバーと密にコミュニケーションするしかないのではないのでしょうか。一方で、決断に際しては、冷静さと厳しさを忘れぬように、と自らにも言い聞かせております。



事業所・工場向け

新エネルギー・ マネジメント・システム **sEMSA**[®]

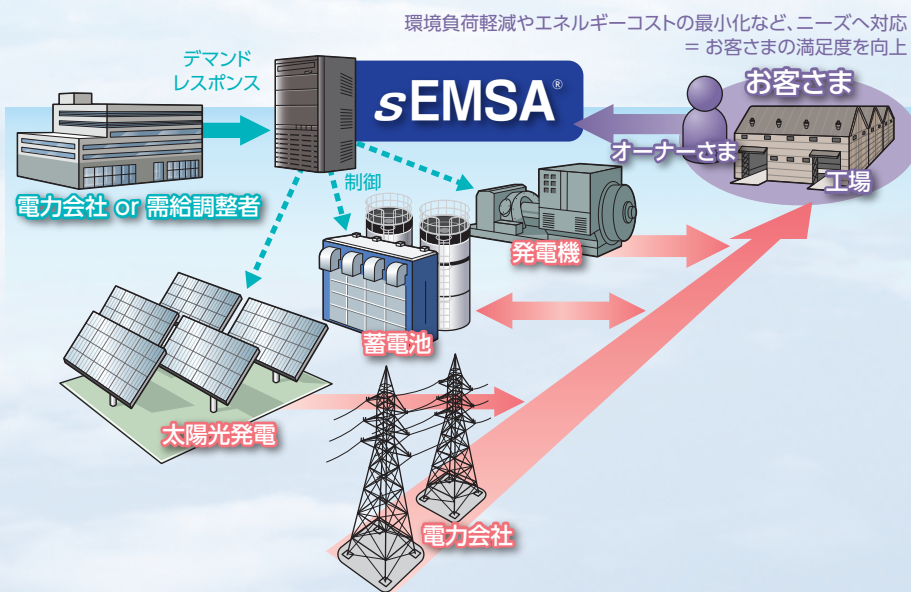
sEMSA[®]ってなに?



sEMSA[®]について
パワーシステム研究開発センターの
PS犬をご紹介します。

sEMSA[®]とは当社が開発した、再生可能エネルギーを含む多様な分散電源を使って需要家にとって最適となるように電力を運用できるエネルギー・マネジメント・システムのことです。発電設備と蓄電設備の機能を最適に管理・制御することで、電力コストの低減や省エネ効果を発揮することができます。

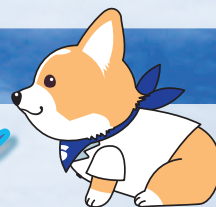
たとえば、電力消費が少なく低コストの夜間電力を貯めておき、電力が逼迫してコストも高い昼間にそれを利用して電力消費の平準化（ピークカット）や、電力コストの低減を図ることができます。また、電力消費を含む各種情報をリアルタイムで見える化し、事業所・工場の操業改善にも活用できます。さらに、電力会社の予備電力確保や負荷平準の手段であるデマンドレスポンスにも自動で対応することが可能です。



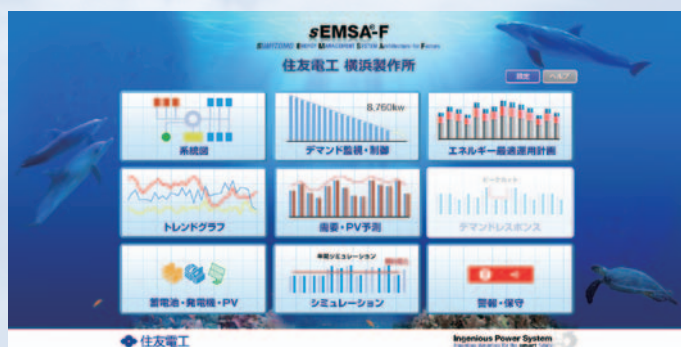
近年、省エネルギーに対する社会的要請とともに、工場や企業などの大規模需要家において、再生可能エネルギーなどを使用した分散型の電力システムの活用がますます高まっています。

環境負荷軽減やコスト最小化のためのエネルギーの高効率運用が可能なsEMSA[®]は、こうした大規模電力システムにおいてより効率的なエネルギー運用を行うための重要な役割を果たします。

sEMSA[®]でどんなことができるの?



sEMSA[®]は、有線および無線のハイブリッドネットワークを介して、発電量、蓄電量および消費量を収集し、最適な需給バランスが得られるように電力の流れを管理します。消費者の利便性を損なわずに経済メリットを得られるように発電・蓄電設備および負荷機器の制御を行います。計測データは中央制御サーバで一括管理され、発電・蓄電・消費のリアルタイムの状況や、過去の発電や消費データのトレンドをディスプレイで確認することができます。



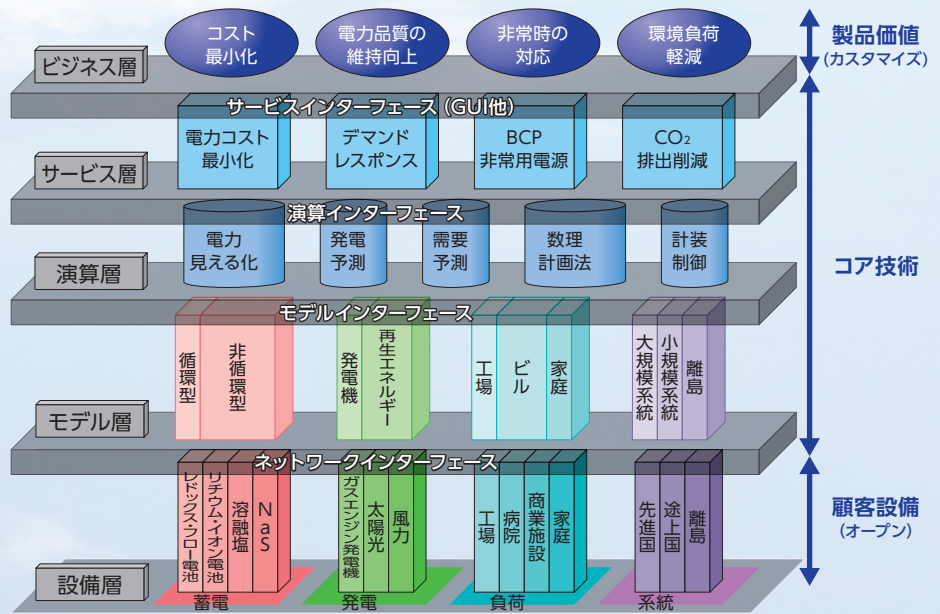
sEMSA®の特長



1 幅広い顧客ニーズに対応可能な、新しい独自方式を開発

当社はエネルギーマネジメントにおける機能を階層化し、右図に示すアーキテクチャに沿って開発を進めています。層内における各機能はモジュール*1化されており、sEMSA®は必要なモジュールを組み合わせることで構成することが可能です。これにより、大規模需要家から家庭まで多様な顧客ニーズや分散電源に対して短納期・低コストに対応することができます。

現在、当社横浜製作所にて複数台の分散電源とsEMSA®を使っており、デマンドレスポンスに対応して地域の電力需給調整に役立っています。



2 デマンドレスポンス (DR) にも瞬時に対応

複数の分散電源の運用を最適化する手法として数理計画法*2が一般に知られています。この数理計画法において、当社は電力を最適に運用する計画を短周期で立案し、それと並行してリアルタイムで計画との誤差を吸収するフィードバック制御を行う高速計算アルゴリズムを新規に開発し、電力コ

ストの予測誤差を縮め、かつリアルタイムレベルでの運用を実現しました。電力会社の予備電力確保や負荷平準の手段として、DRへの関心が高まる中、sEMSA®はDR発令を受けて瞬時に対応することも可能です。

3 電力消費の最適運用と契約電力の遵守を両立

sEMSA®は、短周期で再計算する電力最適運用計画を参照しながら、急な電力需要の変動に対するフィードバック制御をかけますので、電力最適運用と契約電力の遵守を理想的に両立させます。

4 投資回収条件などの各種シミュレーションもサポート

分散電源導入前の事業所にあつては、投資回収最良条件での分散電源設備仕様をご提案し、同設備導入後にはその条件にそつた電力運用をsEMSA®が実現します。

*1 モジュール: システムの全体機能を複数の機能に分割して開発するための個々の単位を指します。入出力のインターフェースをあらかじめ定めておくことで、モジュールの交換により機能の変更や拡張が可能です。

*2 数理計画法: 与えられた制限の下で、ある量を最大あるいは最小にするような条件を求める数学的手法です。

SEIさんと学ぶ

もっと知りたい あの製品技術!

今月の
注目製品

LTE小型基地局用 オールインワン無線モジュール 「TPM-2606P2」

今回は、スマートフォンなどの通信機器が安定した通信を行うために
欠かせない製品をご紹介します。

製品データ

発売開始時期 2014年10月

プレスリリース

http://www.sei.co.jp/news/press/14/prs116_s.html

小型基地局用オールインワン無線モジュールってなに?

近年のスマートフォンなどの普及により、携帯電話システムの通信量は爆発的に増加しており、通信速度の低下などの問題が起っています。その有力な対策として、通信が集中する小規模エリアを小型基地局によって専用にかバーする「スモールセル」の導入が始まっています。この小型基地局向けに、携帯電話基地局用無線送受信装置(リモートラジオヘッド)の技術をベースに当社が開発した製品が、オールインワン無線モジュール「TPM-2606P2」です。

オールインワン無線モジュール「TPM-2606P2」の特長

今回開発した「TPM-2606P2」には、今後普及が進む2.6GHz帯のTD-LTE*1用基地局に必要な全ての無線回路(送信増幅器、受信増幅器、送受切替スイッチ)が内蔵されており、それぞれの回路に次の特長があります。

- ① LTE基地局の消費電力の多くを占める送信増幅器にドハティ型*2を採用し、40%以上*3の高い電力利用効率を実現。
- ② 受信増幅器にはバランス型を採用し、低雑音、高耐入力電力とアンテナ端子の低反射特性を同時に実現。
- ③ サーキュレータ*4との組合せにより、低損失な送受切替スイッチを実現するとともに、スイッチを通過する電力を低減し信頼性を向上。
- ④ 高効率の送信増幅器に不可欠な歪み補償回路を内蔵し、外部に高価な歪み補償回路が不要。歪み補償回路の内蔵によって、製造現場での増幅器との組合せによる規格未達などのトラブルも防止。

「TPM-2606P2」はこれらの特長を持つ無線回路をコンパクトにモジュール化し、基地局メーカーでの開発・製造期間の大幅な短縮、スモールセルの普及に寄与します。

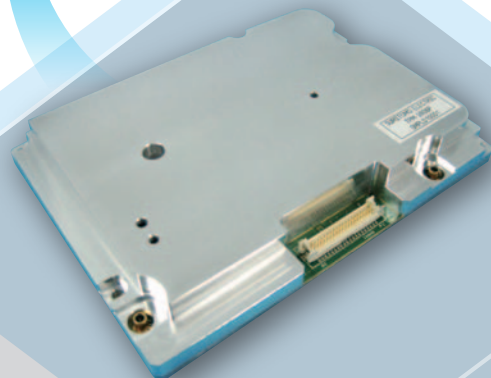
*1 TD-LTE:3.9世代の携帯電話通信方式LTEのうち、送信と受信を時分割で切り替える方式。

*2 ドハティ型増幅器:増幅器を2並列で構成し、出力電力が低い時は一方の増幅器のみを動作させ、出力電力が高い時は両方の増幅器を動作させることにより、高出力と高電力利用効率を両立させる増幅器。

*3 LTE信号6W出力時

*4 サーキュレータ:3端子を持つ受動電子部品。

当社インフォコミュニケーション・
社会システム研究開発センターが開発した
製品を紹介します。



技術者に聞きました

インフォコミュニケーション・
社会システム研究開発センター
無線伝送システム研究部



西村 修一

開発でどんなところに苦労しましたか?

小型基地局用ということでモジュールの小型化を実現するために、使用部品の小型化や回路の高密度化に挑戦しました。一方で小型化により熱が狭い範囲に集中するため、その放熱対策のためプリント基板の裏面に金属板を半田付けするのですが、プリント基板と金属板をぴったりとつけるには実装上の工夫が必要でした。工場条件出しを繰り返し、製造部門と一体となって製造治具の改良を進めることで、精度良く実装することが可能になりました。

当社製品のこういった点が お客さまに喜ばれていますか?

アンプで無線信号を増幅するときに供給したエネルギーの多くは熱となって消費されてしまうため、アンプの電力利用効率を上げて消費電力を下げるのが重要です。本モジュールは内蔵の歪み補償回路のおかげで高効率化が実現できており、基地局装置に組み込むことで、複雑な制御をすることなく低消費電力と良好な無線特性を得ることができるという、導入が容易な点がお客さまに喜ばれています。

LATEST information

さまざまな分野の
最新情報をお伝えします

受賞

自動車事業本部 西部営業統轄部、焼結製品事業部

スズキ(株)より「Best Partner」賞、 「VA・VE提案」賞を受賞

スズキ(株)より2014年度、優秀取引先として「Best Partner」賞と「VA・VE提案」賞を受賞しました。2つ合わせてのダブル受賞は2012年度より3年連続になります。

本受賞は、当社が納入する自動車用ワイヤーハーネス、焼結製品におけるコストダウン提案と、品質・納期対応、並びにVA※1・VE※2の積極的な提案が高く評価されたものです。

今後とも自動車用ワイヤーハーネス、焼結製品の品質・納期・コストダウン・技術開発の全てにわたり、お客さまの期待に応えられるよう努力を重ねていきます。

※1 VA: Value Analysis 価値分析

研究開発からアフターサービスに至るまでの事業活動について、競合と自社の強み/弱みを把握し、競争優位性を確立するためのヒト・モノ・カネの資源の配分を考え、事業戦略の有効性や改善の方向を探ること。

※2 VE: Value Engineering 価値工学

製品やサービスの価値を、それが果たすべき機能とそのためにかかるコストとの関係で把握し、価値を高めるための機能とコストの最適組み合わせの実現を試みることに。



新製品情報

住友電工情報システム(株)

文書管理・情報共有システムの最新版 「楽々Document® Plus Ver.3.6」を販売開始

住友電工情報システム(株)は、登録ファイルのセキュリティを強化し、ファイルの社外流出を防止できる文書管理・情報共有システムの最新版「楽々Document® Plus Ver.3.6」を開発し、2月1日より販売を開始しました。

「楽々Document® Plus」は、企業内に分散して存在する文書やデータを閲覧・登

録・保存・管理し、必要な時に必要な情報を高度な検索ですぐに取り出すことのできる文書管理・情報共有システムです。「楽々Document® Plus」は、複数のファイルを1つの「文書(ドキュメント)」に添付し、「フォルダ」に保管することで文書を登録します。登録した文書には日付や作成者などの任意項目を

属性として付与することが可能で、また、添付ファイルをPDFファイルに変換することで、専用のビューワで表示し、PDFのセキュリティ機能を活用できるようにしています。

今回、販売を開始する「楽々Document® Plus Ver.3.6」では、添付ファイルのセキュリティがさらに強化されました。機密性の高いファイルに透かし文字を挿入できるほか、閲覧・印刷を制限し、社外流出を防ぎます。また、未読文書が一覧表示できるようになり、確認漏れを防止できます。

お知らせ

物流管理部

「エコルールマーク」認定更新のお知らせ

当社は、環境保全活動の地球温暖化防止への取り組みの一環として、環境に優しい輸送手段である船舶や鉄道を積極的に利用する活動(モーダルシフト)を推進しています。

2012年2月に公益社団法人鉄道貨物協会から「エコルールマーク※取組企業」の認定を取得していますが、今般、更新時期を迎えたので更新審査を申請し、2013年度の輸送距離500km以上の陸上輸送のうち57.6%で

鉄道を利用していることが評価され、認定の継続が認められました。



鋼線の輸送に20フィートコンテナを利用(最大積載量8.8トン・積載重量7トン)

※ エコルールマーク: エコルールマークは国土交通省が制定した制度で、トラックに比べてCO₂排出量が少なく環境にやさしい輸送手段である鉄道を一定以上利用している商品または企業に対して使用が許可され、商品の梱包などに表示することによって消費者が商品を購入する際の判断基準を提供するものです。

展示会

住友電工システムソリューション(株)

「第6回 国際自動車通信技術展」に出展

本展示会は、自動車と通信の融合によって実現される可能性のある新しいビジネスについて、自動車関連業界・IT関連業界などの方々に有意義な情報交換の場を創ることを目的とした展示会です。

公式サイト: <http://www.attt.jp/>
会期: 3月11日(水)~13日(金)
会場: 東京ビッグサイト アース番号: 4422
出展製品: スマートフォン&タブレット端末向けカーナビエンジン「AgentNavi」、動態管理システム「Traffic Vision®/MM」

その他

広報部

「瀬田川ぐるっとウォーク」に参加

びわ湖毎日マラソン大会 協賛イベントのひとつで、瀬田川(滋賀県)沿いを歩くウォーキング大会「瀬田川ぐるっとウォーク」が2月15日(日)に開催され、当社グループ社員も参加しました。

「瀬田川ぐるっとウォーク」は、ゴミを拾い、琵琶湖・瀬田川の美化活動を

行うイベントで、そのコースはびわ湖毎日マラソン大会のコースの一部です。大会前に、マラソンコースの下見ができる魅力的なイベントです。

当日、寒空の中、受付を済ませ、選手が走りながら見る景色を体感し、琵琶湖・瀬田川の美化活動をしました。



LATEST information

お知らせ

広報部

ビジュアル・アイデンティティ導入、 およびWEBサイトリニューアルのお知らせ

当社は、今年からビジュアル・アイデンティティ※1(以下、VI)を導入します。まずWEBサイトのリニューアルなどをおこなったのでお知らせいたします。今後も住友電工グループブランドを視覚的に表現していくデザインを順次展開していきます。

今回新たに導入したVIは、Visionary(未来を見据える)、Committed(萬事入精※2)、Diverse(多様性の尊重)、Innovative(価値の

創造)という住友電工グループのブランドバリューをイメージさせ、住友電工グループを視覚的に表現するために開発したものです。また社名ロゴをより読みやすい字体になるよう、26年ぶりに変更しております。当社は、本VIを通じて全世界でグループ全体のブランド力を強化し、今後も豊かな未来社会の構築に貢献できるよう邁進してまいります。

※1 ビジュアル・アイデンティティ
ロゴマークや書体などを、決められた使用ルールでさまざまな広告物や印刷物に展開し、すべてのステークホルダーの皆さまに対して、視覚的統一性のあるブランド訴求を行うこと。

※2 萬事入精
住友事業精神の根幹にあたる考え方で、「商売はもとより、まず一人の人間として、何事に対しても誠心誠意尽くす人であれ」という意味を持つ。

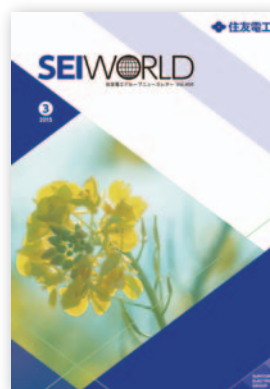
ブランドマーク(社名ロゴ)



VIデザイン展開例



手提げ袋



広報誌 SEI WORLD表紙

WEBサイトリニューアル

WEBサイト(<http://www.sei.co.jp>)の全面リニューアルでは、VIを適用したデザインに変更するとともに、メニューや文字の大きさな

ど視認性を重視し、目的のページにたどりつきやすいレイアウトに変更しています。リニューアルの概要は右記の通りです。

(1) ナビゲーションの改良

より簡単に目的のページにたどりつけるようナビゲーション(メインメニューボタン)を改良しました。ナビゲーション内の各項目に、製品やコンテンツのイメージ画像を表示することにより、一目で行きたいページがわかるようになりました。

(2) 製品情報の充実

当社製品についてより詳しくご理解いただけるよう、製品情報コンテンツに、新たに各製品の概要ページを設けました。また、活躍している事業分野ごとに製品を紹介することで、目的の製品が見つかりやすくなっています。



英語版、中国語版サイトにつきましても、今後順次公開していく予定です。

その他

広報部

公式サイト: http://www.sei.co.jp/osaka_vb/

「第84回全日本9人制バレーボール総合男子選手権大会」で優勝

1月16日(金)から19日(月)に京都で行われた「全日本9人制バレーボール総合男子選手権大会」に、当社、大阪製作所、横浜製作所の男子バレーボールチームが出場しました。

大阪チームは決勝まですべて2-0のストレート勝ちで勝ち進み、みごと優勝しました。

今後も今回の結果を糧とし、さらなる成長を目指してまいりますので、引き続き応援よろしく申し上げます。



展示会

住友電工デバイス・イノベーション(株)、光機器事業部、光通信研究所

「光通信の国際会議・展示会」に出展

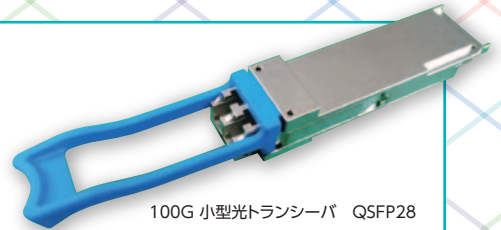
米国・カリフォルニア州で世界最大規模の光通信関連の国際会議「OFC 2015」が開催され、本会議に併設される専門展示会では、次世代光ネットワーク関連機器、デバイスなどが一堂に紹介されます。

住友電工デバイス・イノベーション(株)および米国販売会社であるSumitomo Electric Device Innovations U.S.A., Inc.は、小型・高性能・省電力・高品質を特長とする光トランシーバ、光デバイスなどを、当社および米国

製造販売会社であるSumitomo Electric Lightwave Corp.は、無線LAN対応融着機、データセンタ用光配線ソリューション(4th LEVEL)、光インターコネクト製品などを出展します。

4th LEVEL トレードマーク

レンズ付きコネクタ



100G 小型光トランシーバ QSFP28

公式サイト: <http://www.ofcconference.org/home/>
 会期: 3月24日(火)~26日(木)
 会場: 米国・カリフォルニア州・ロサンゼルス・ロサンゼルスコンベンションセンター
 ブース番号: 1625
 出展製品: 40G/100Gなど光伝送システムに対応した各種プラグブルトランシーバ、コヒーレント伝送用光デバイス、データセンタ用光配線ソリューション(4th LEVEL)、融着機、光インターコネクト製品など

住友電工グループ地球人活動 スマイルリレー

住友電工グループ地球人活動スマイルリレーとは、世界各国の当社グループ社員の企業市民活動により生まれた「笑顔の交流」をご紹介しますコンテンツです。



ブログURL <http://www.sei.co.jp/smile>

(株)ジェイ・パワーシステムズに日高小学校の生徒さんが見学に来てくれました

こんにちは。(株)ジェイ・パワーシステムズ日立人事総務グループの岡崎です。

昨年、11月26日(水)と27日(木)の2日間、当社の日高事業所に、地元の日立市立日高小学校の3年生90名が見学に来てくれました。この見学は毎年実施しており、見学のみなさんの中には、家族や親戚が当社で働いている生徒さんも多く、とても楽しみにしていただいております。

はじめに当社の概要、電力ケーブルの製造方法を説明したのち、VCV(垂直型絶縁押出ライン)タワーの製造現場を見学していただきました。子どもたちは、近隣地域で最も高いVCVタワーから日高小学校や自分の家などを探して、楽しく見学していました。

「電線はだんだん太くして作ることがわかった」「いろいろな物を外に巻いて守っていることがわかった」「大きな機械でびっくりした」などの感想をいただきました。

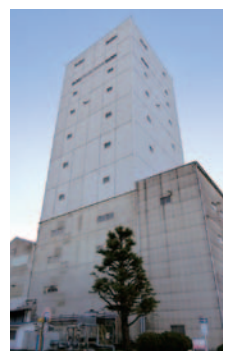
また、後日、生徒さんから工場見学のお礼の作文をいただき、社員一同、心が温かくなりました。

地域との交流の場として、また、子どもさんたちの笑顔に溢れた見学会でしたので、今後も継続していきたく思っております。



株式会社ジェイ・パワーシステムズ

2001年7月設立(本社・東京都港区)。2014年4月に住友電工の100%子会社化。配電用電力ケーブル、架空送電線およびそれらの付属品など、関連システムの研究、開発、設計、製造、販売から工事施工にいたるまで、一貫したサービスの提供を通じ、これからの高度エネルギー社会にふさわしい環境と調和した、安全で高い品質の電力供給を支えます。美しい地球環境、豊かな社会基盤づくりに貢献する世界トップのケーブルメーカーをめざします。



今月の グループ 会社紹介

グローバルグループ Vol.35

WIN-M

Sumitomo Electric Wintec (Malaysia) SDN.BHD.

私が紹介します



営業課
南 大庸



整ったインフラで家電製品や車載向けモーターやコイル用の巻線を生産・販売するマレーシア WIN-Mからのレポートです。



会社概要



名称: Sumitomo Electric Wintec (Malaysia) SDN.BHD.
設立年月: 1988年9月
事業内容: 巻線の製造販売
代表者: 森 正哉

住友電工
との
つながりは

現在、東南アジアには、住友電工グループ巻線部門の関係会社が3社(タイ、マレーシア、インドネシア)あり、Sumitomo Electric Wintec (Malaysia) SDN.BHD.はマレーシア国内向けだけでなく、急速な経済発展が進むフィリピン、ベトナムの東南アジア地域のほか、インドや日本への巻線の供給拠点としての役割を果たしています。

こんな
仕事を
しています

営業の統括および売上管理、 スタッフ教育など拡販、改善活動に取り組む

WIN-Mはマレーシア最大の都市であるクアラルンプールから南西に30kmの工業団地の多いシャーアラム市にあります。1988年に設立され、今年で27年目を迎えます。当社でいち早く海外展開をおこなった巻線事業の海外拠点として、マレーシアの着実な経済発展とともに成長してきました。安定した政治体制や、インフラの整った立地条件から、BCP*の観点からも有力な拠点として、グループ内で注目されています。当社は家電製品や車載向けモーターやコイル用の巻線を生産販売しています。

私は2013年7月に赴任し、シニアマネージャーとして営業課を統括しています。社内では月次の売上管理、現地営業スタッフの教育や仕組みの整備に取り組んでおり、また定期的に国内外へ出向き、拡販・改善活動を目的に、お客さまとの折衝に注力しています。

*BCP: 事業継続計画



WIN-Mのスタッフ

現地スタッフの紹介



ADLI (アドリ)

私は1994年に入社以来、品質保証一筋です。現在は社内品質管理のほか、お客さまからの品質要求や問い合わせへの対応もおこなっています。

私のモットーはハードワークとスタッフとの良好な関係、ポジティブシンキングです。みなさんも機会を作って、アジアのさまざまな体験ができる、美しくて平和なマレーシアへぜひお越しください。



NICOLE (ニコル)

私は2012年に入社し、経理課で受払いや借入金の管理などをおこなっています。マレー語、英語、北京語、広東語、福建語に簡単な日本語も話せます。相手により使い分けることで、よいコミュニケーションが図れます。

私の趣味は食べ歩きです。マレーシアには、中華系のバクテー、マレー系のナシレマ、インド系のロティチャナイ、フルーツの王様ドリアンと、名物料理が目白押しです。

現地レビュー

日本の自動車産業と密接な関係のマレーシア

二輪から四輪へ移行する車社会

マレーシアは車社会です。通勤やショッピングなど、車がなければ非常に不便です。久々に当地を訪問された方の話でも、あきらかに二輪が減って四輪が増えたことを実感されるようです。シェア1位のプロドゥア社と2位のプロトン社はいずれも現地メーカーですが、日本車も人気があり、特に高級セダンが依然ステータスシンボルとなっています。



マレーシア売上1位のプロドゥアMyvi

プレーも観戦もスポーツ天国

プレーするにも観戦するにもマレーシアはスポーツ天国です。プレーではまずゴルフ。コースが身近なことから、日本の半値ほどのプレーフィーで、週末はゴルフでよい汗をかく駐在員も多いです。またスイミングやマリンスポーツは年中気軽に楽しめますし、気温の上がらない早朝にはランナーもよく見かけます。観戦では一番人気はサッカー。特に英プレミアリーグが一番人気。F1や日本人の有力選手も参加するテニスやゴルフの国際大会も毎年開催されています。

私自身は週末はラグビーをプレーし、最近ではリオデジャネイロ五輪から正式種目となる7人制ラグビーの男子日本代表の試合観戦を楽しみました。



ペトロナスツインタワー



スルタン・アブドゥル・サマドビル



肉骨茶



KLセントラル駅



ブンガラヤ

住友電気工業株式会社

本 社(大阪) 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-5-33(住友ビル) Tel.06-6220-4119 Fax.06-6222-6485
本 社(東京) 〒107-8468 東京都港区元赤坂1-3-13(赤坂センタービル) Tel.03-6406-2600 Fax.03-6406-2700
中 部 支 社 〒461-0005 名古屋市東区東桜1-1-6(住友商事名古屋ビル) Tel.052-963-2700 Fax.052-963-2818
九 州 支 店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-2-8(住友生命博多ビル) Tel.092-441-1791 Fax.092-473-7084
中 国 支 店 〒730-0031 広島市中区紙屋町1-3-2(銀泉広島ビル) Tel.082-248-1791 Fax.082-249-3483
東 北 支 店 〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-27(プライムスクエア広瀬通) Tel.022-262-7540 Fax.022-262-7538
北 海 道 支 店 〒060-0042 札幌市中央区大通西8-2(住友商事フカミヤ大通ビル) Tel.011-241-1375 Fax.011-281-4113
沖 縄 支 店 〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地3-21-1(國場ビル3F) Tel.098-866-3213 Fax.098-866-0277
豊 田 事 業 所 〒471-0855 愛知県豊田市柿本町2-4-1 Tel.0565-26-4105 Fax.0565-26-4158

<http://www.sei.co.jp/>(バックナンバーも掲載しています)

住友電工グループニュースレター 第450号 2015年3月発行 編集発行人/野田太郎